

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商 品 分 類	追加型投信／内外／資産複合
信 託 期 間	2013年8月13日から2033年6月3日まで
運 用 方 針	<p>安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指した運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none">・マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に投資し、市場環境に合わせて機動的に資産配分の調整を行う投資信託証券や海外の債券等に投資する投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）への投資を行います。・Aコース（為替ヘッジなし）の実質外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。・Bコース（為替ヘッジあり）の実質外貨建資産については、原則として、為替ヘッジにより米ドルと円との間の為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。・資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
主 要 投 資 対 象	<p>当 フ ァ ン ド</p> <p>・シユローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。</p> <p>マザーファンド</p> <p>・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人 「シユローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJ 投資証券」 ・ルクセンブルグ籍ユーロ建て外国投資法人 「シユローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・リサイディティ クラスI 投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人 「シユローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リサイディティ クラスI 投資証券」 上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。</p>
組 入 制 限	<p>当 フ ァ ン ド の マザーファンド 組 入 限 比 率</p> <p>制限を設けません。</p> <p>マザーファンド</p> <p>投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>
分 配 方 針	<p>毎決算時（毎年6月3日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日）に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売益（評価益を含みます。）等から、基準価額水準、市況動向等を勘案しながら決定します。 なお、分配を行わない場合があります。</p>

シユローダー・インベストメント・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-3
丸の内トラストタワー本館21階
<http://www.schroders.co.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

- ・投資信託営業部 電話番号 03-5293-1323
- ・受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日は除く)

シユローダー・インカムアセット・アロケーション（1年決算型）

Aコース（為替ヘッジなし）／Bコース（為替ヘッジあり）

愛称 グランツール1年

第12期 運用報告書(全体版)

(決算日 2025年6月3日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、「シユローダー・インカムアセット・アロケーション（1年決算型）Aコース（為替ヘッジなし）／Bコース（為替ヘッジあり）」は、2025年6月3日に第12期の決算を行いました。

ここに、謹んで期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

Schroders
シユローダー・インベストメント・マネジメント

Aコース（為替ヘッジなし）

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配額)	基 準 価 額					投 資 信 託 券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金	期 謄	中 落 率		
8期(2021年6月3日)	円 14,279			円 0		% 17.9	% 98.4	百万円 804
9期(2022年6月3日)	15,297			0		7.1	98.7	547
10期(2023年6月5日)	16,499			0		7.9	97.6	442
11期(2024年6月3日)	20,271			0		22.9	98.3	497
12期(2025年6月3日)	19,827			0		△ 2.2	97.7	435

(注) 基準価額、税込み分配金は1万口当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額		投 資 信 託 券 率
		騰	落	
(期 首) 2024年6月3日	円 20,271		% —	% 98.3
6月末	20,955		3.4	97.7
7月末	19,972		△1.5	97.4
8月末	19,452		△4.0	98.0
9月末	19,415		△4.2	98.1
10月末	20,552		1.4	98.1
11月末	20,304		0.2	98.4
12月末	21,005		3.6	97.0
2025年1月末	20,878		3.0	97.4
2月末	20,500		1.1	98.1
3月末	20,364		0.5	97.6
4月末	19,392		△4.3	98.5
5月末	19,962		△1.5	98.3
(期 末) 2025年6月3日	19,827		△2.2	97.7

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは、親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

(注) 当ファンドは、親投資信託を通じて、主に有価証券に投資する投資信託証券への投資を行い、複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に実質的な投資を行います。 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

Bコース（為替ヘッジあり）

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	基 準 価 額					投 資 信 託 券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金	期 謄	中 率		
8期(2021年6月3日)	円 11,429			円 0		% 16.3	% 98.7	百万円 299
9期(2022年6月3日)	10,350			0		△ 9.4	99.2	221
10期(2023年6月5日)	9,933			0		△ 4.0	97.6	201
11期(2024年6月3日)	10,352			0		4.2	99.9	193
12期(2025年6月3日)	10,569			0		2.1	95.8	181

(注) 基準価額、税込み分配金は1万口当たり。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	基 準 価 額		投 資 信 託 券 率	
		騰	落	率	
(期 首) 2024年6月3日	円 10,352			% —	% 99.9
6月末	10,411			0.6	101.3
7月末	10,439			0.8	92.4
8月末	10,625			2.6	96.6
9月末	10,708			3.4	98.4
10月末	10,492			1.4	101.2
11月末	10,531			1.7	96.7
12月末	10,345			△0.1	100.1
2025年1月末	10,487			1.3	95.8
2月末	10,565			2.1	97.0
3月末	10,470			1.1	98.4
4月末	10,381			0.3	98.7
5月末	10,569			2.1	97.1
(期 末) 2025年6月3日	10,569			2.1	95.8

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは、親投資信託を組入れますので、投資信託証券組入比率は実質組入比率で表示しております。

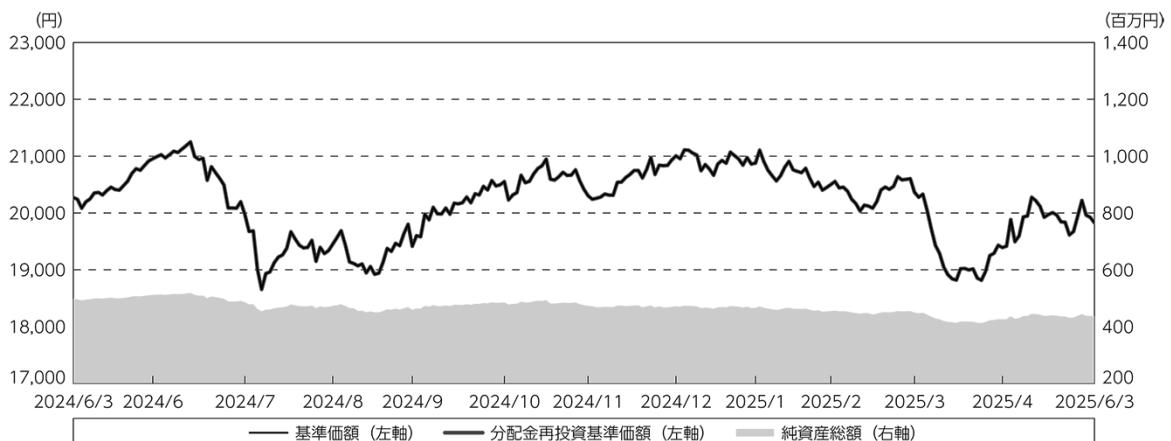
(注) 当ファンドは、親投資信託を通じて、主に有価証券に投資する投資信託証券への投資を行い、複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に実質的な投資を行います。 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

Aコース（為替ヘッジなし）

○運用経過

(2024年6月4日～2025年6月3日)

期中の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首（2024年6月3日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首20,271円でスタートした基準価額は、19,827円（分配後）で期末を迎え、期首比2.2%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

当期、マザーファンドの主要投資対象ファンド（米ドルベース）はプラスのリターンとなりました。

米国のトランプ政権による関税政策を巡り、株式市場は大幅に下落した局面もありましたが、概ね上昇基調を辿ったことから、世界株式は上昇し、高配当株式の組入れはパフォーマンスにプラスに寄与しました。債券資産については、クレジット資産は堅調に推移し、総じて上昇したことから、債券資産はパフォーマンスにプラスに寄与しました。特に、ハイイールド債券の組入れによるプラス寄与が大きくなきました。

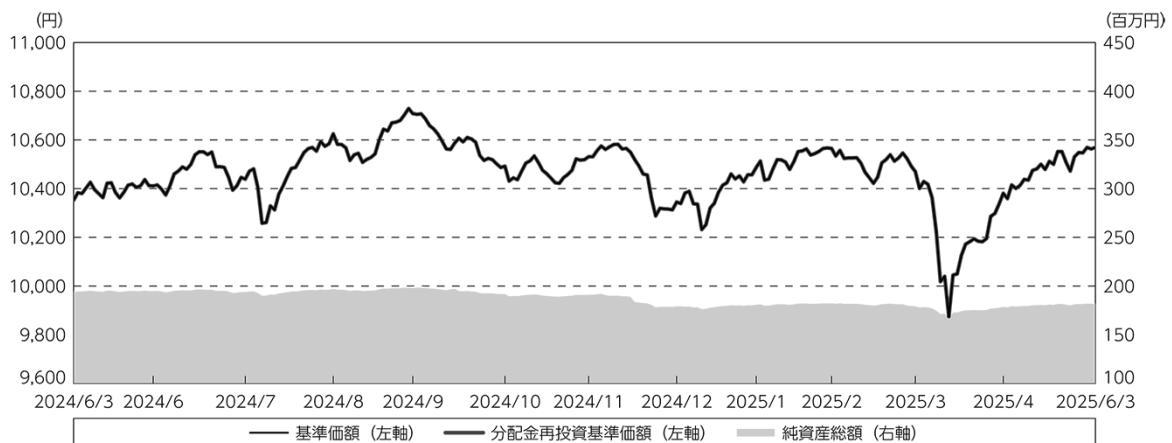
当期、円高が進行したことがマイナス要因となり、為替ヘッジを行わない当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）は下落しました。

Bコース（為替ヘッジあり）

○運用経過

(2024年6月4日～2025年6月3日)

期中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算しており、実際の基準価額と異なる場合があります。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2024年6月3日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期初10,352円でスタートした基準価額は、10,569円（分配後）で期末を迎え、期首比2.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

当期、マザーファンドの主要投資対象ファンド（米ドルベース）はプラスのリターンとなりました。米国のトランプ政権による関税政策を巡り、株式市場は大幅に下落した局面もありましたが、概ね上昇基調を辿ったことから、世界株式は上昇し、高配当株式の組入れはパフォーマンスにプラスに寄与しました。債券資産については、クレジット資産は堅調に推移し、総じて上昇したことから、債券資産はパフォーマンスにプラスに寄与しました。特に、ハイイールド債券の組入れによるプラス寄与が大きくなりました。

当期、為替ヘッジを行う当ファンドの基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

投資環境

当期、当期初から2025年2月半ば頃まで世界株式は上昇基調を辿りました。4月に米国のトランプ政権による関税政策を巡り、大幅に下落した局面もありましたが、その後反発し、再び上昇基調となつたことから、世界株式は上昇して終えました。当期初から2024年7月半ばにかけては、人工知能（AI）の発展を巡る期待感などが支援材料となり、世界株式は上昇しました。8月、市場予想を下回る米国雇用統計を受け、景気後退懸念が急速に高まつたことを背景に、ボラティリティ（変動性）が急上昇する局面がありました。その後発表された主要経済指標が堅調な内容となつたことや、好調な企業業績の発表などが投資家心理を支えました。8月以降2025年2月半ば頃までは、米連邦準備制度理事会（FRB）が3会合連続で利下げを決定したことなどが支援材料となり、米国株式を中心に世界株式は上昇基調を辿りました。3月、関税を巡る不確実性が高まる中、世界株式市場は下落基調に転じ、4月初にはトランプ政権が「解放の日」と呼ぶ日に発表された関税政策を受け、株式市場は急落しました。その後、相互関税の一時停止が発表されたことで反発し、世界株式市場は上昇して終えました。

債券については、米国やドイツなどの主要債券市場での金利は、ほぼ横ばいの水準で終えました。当期初から2024年9月末頃までは、主要中央銀行が金融緩和を進める中、金利は低下（価格は上昇）基調を辿りました。その後、10月から2025年1月半ば頃まで、トランプ次期政権の政策がインフレ圧力の再燃につながるとの懸念から、米国金利は上昇（価格は下落）した後、インフレ懸念の緩和や一部経済指標が米国経済の軟化の兆候を示したこと、米国金利は低下しました。ドイツの金利は3月にドイツ政権が防衛・インフラ関連への投資を含む、大規模な財政拡大案を発表したことを背景に、大幅上昇しました。クレジット資産については、トランプ政権による関税政策の発表を受け、2025年4月に大幅に下落した局面もありましたが、総じて上昇基調を辿り、投資適格社債、ハイイールド社債ともに上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンドにおいて、投資比率が高位であるシュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJの運用について

当期、高配当株式について、組入比率を機動的に調整したほか、米国資本からの資金シフトが意識される局面では、欧州株式を選好するなど、エクスポージャーの調整を行いました。2024年7月、ポートフォリオのリスクの引き下げを企図して、米国株式の一部売却により高配当株式の組入比率を引き下げました。その後、高配当株式の組入比率を同程度の水準で維持する中で、国別のエクスポージャーの変更を機動的に行い、12月には米国株式の組入比率を引き下げ、バリュエーション（価値評価）が魅力的と判断した欧州株式の組入比率を引き上げました。2025年1月、堅調な経済成長が世界株式を下支えするとの見方から、高配当株式の組入比率を引き上げた後、2月には米国の政策を巡る不確実性が高まつたことを受け、米国株式の売却により高配当株式の組入比率を引き下げました。5月、再び米国株式の組入比率を引き上げたことから、高配当株式の組入比率は上昇しました。

債券については、2025年4月から当期末にかけて、デュレーションを短期化しました。2024年6月、クレジットクオリティが高く、高利回りである資産に、効果的な分散資産としての役割が今後期待されると考え、オーストラリア投資適格債券を新規で組み入れました。7月、ポートフォリオのリスクの引き下げを企図して、ハイイールド債券の組入比率を引き下げました。11月、相対的なバリュエーション水準の観点から、米国投資適格社債を一部売却し、オーストラリア投資適格債券の組入比率を引き上げました。2025年に入つてからも、トランプ政権による関税政策や、移民政策が米国労働市場にもたらす影響などを考慮し、債券資産の中で分散して資産を保有する方針を取つており、オーストラリア投資適格債券などのハイクオリティな資産への選好を維持しました。

その他インカムアセットについては2025年3月、リスク調整後利回りやリスク分散を勘案し、証券化商品の組入比率を引き上げました。

作成基準日：2025年5月30日

**マザーファンドの投資対象ファンドである
「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム」**

■ポートフォリオ利回り

	利回り
高配当株式	3.8%
債券	6.6%
その他インカムアセット	6.1%
ポートフォリオ全体	6.3%

- 利回りの計算は委託会社の見解に基づき行っています。

■資産配分比率

	比率
高配当株式	35.2%
債券	48.0%
その他インカムアセット	14.5%
合計	100.0%

■通貨別構成比

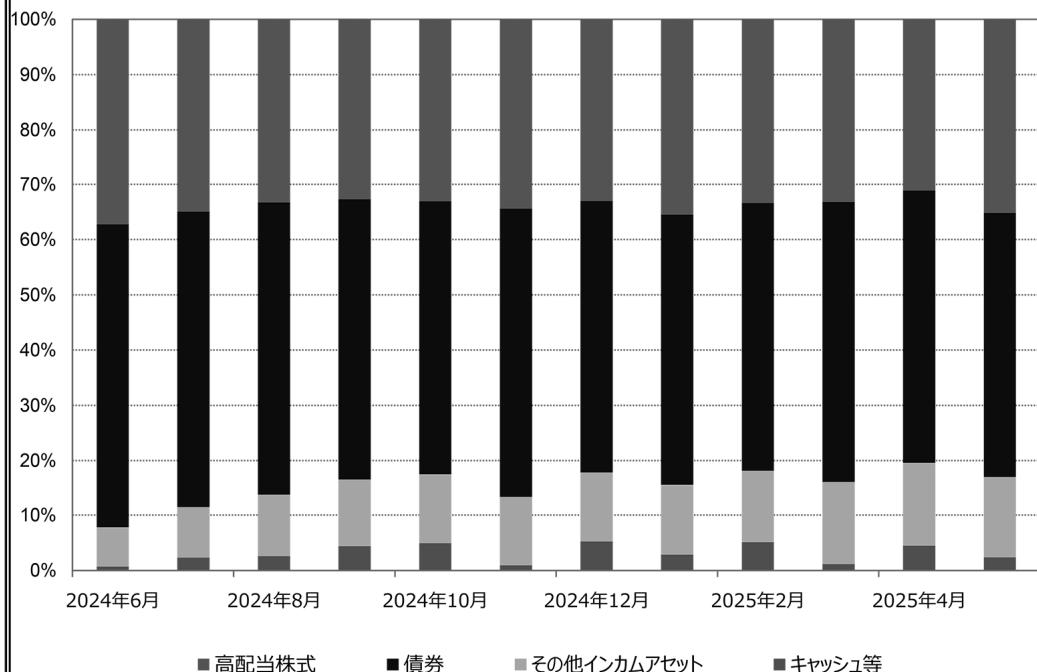
通貨	比率
米ドル・その他先進国通貨	93.6%
新興国通貨	6.4%
合計	100.0%

■地域別構成比

地域	比率
北米	49.8%
欧州	19.7%
新興国	14.2%
アジア・オセアニア	9.6%
英国	4.3%
その他	2.3%
合計	100.0%

■過去1年間のポートフォリオ利回り（上段）と資産配分比率（下段）の推移

2024年							2025年				
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
6.8%	6.5%	6.3%	6.1%	6.0%	6.2%	6.3%	5.9%	6.1%	6.0%	6.3%	6.3%



※「キャッシュ等」は、先物、ヘッジポジション等を考慮して算出したものです。

※配分および構成比率について、四捨五入により合計が100%にならない場合があります。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

分配金

Aコース（為替ヘッジなし）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第12期
	2024年6月4日～ 2025年6月3日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	10,999

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

Bコース（為替ヘッジあり）

収益分配金につきましては、基準価額水準、市場動向、信託財産の規模等を考慮し、当期の収益分配は見送らせていただきました。なお、留保益については、特に制限を設けず、当社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第12期
	2024年6月4日～ 2025年6月3日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	5,856

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

米国では、トランプ大統領が1期目に導入した減税の延長に向けて動く中、財政赤字の拡大が見込まれることから、財政悪化を巡る懸念が強くなっています。一方で、関税について、一部製品の関税免除の措置や、各国の米国製品購入の表明によって関税の影響が低減するとの見方から、投資家のリスク選好姿勢が強まり、リスク資産は足元2025年5月、堅調に推移しました。

欧州については、相対的に堅調となる可能性が高いとの見方を維持しています。ドイツでは、5,000億ユーロのインフラ基金と4,000億ユーロの防衛基金の創設が見込まれています。ドイツにおける政府の利払い（対GDP（国内総生産）比）は米国よりも低く、財政が相対的に健全であることから、このような政策も財政的に可能であると考えており、金利コストが急速に上昇している米国とは異なる状況にあります。また、財政面での追い風に加えて、欧州中央銀行（ECB）は過去1年で政策金利を2%程度引き下げており、今後数ヶ月の間で、さらなる利下げも見込まれています。また、米国の住宅市場が停滞する一方、欧州では家計向け融資が急回復しており、貿易戦争による不確実性が長引いた場合も、これらが支援材料となると考えています。ただし、貿易交渉の動向によっては、一時的に停滞する可能性もあると考えています。ポートフォリオでは、欧州株式の中で中型株式を選好しており、割安なシクリカル銘柄を選好しています。また、トランプ政権の動向はアジアにも大きく影響すると考えており、ポートフォリオでは、日本株式をアジア株式の主要ポジションとして保有しています。

債券については、地政学リスクや不透明感が強い環境下、オーストラリア投資適格債券などのハイクオリティな資産への選好を維持しつつ、債券資産の中で分散して資産を保有する方針を取っています。

Aコース（為替ヘッジなし）

○1万口当たりの費用明細

(2024年6月4日～2025年6月3日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 289	% 1.430	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(111)	(0.550)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等
（販売会社）	(167)	(0.825)	・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
（受託会社）	(11)	(0.055)	・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
(b) その他の費用	23	0.112	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.001)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(3)	(0.013)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(20)	(0.097)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（その他の）	(0)	(0.000)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI : Legal Entity Identifier）登録費用等
合計	312	1.542	
期中の平均基準価額は、20,229円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

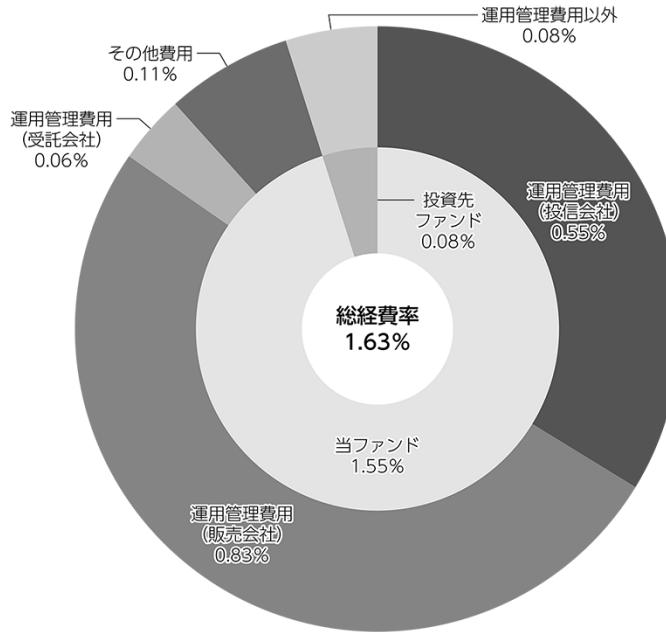
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.63%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.63
①当ファンドの費用の比率	1.55
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用については、投資先ファンドの管理会社が発行する年次報告書（アニュアル・レポート）の記載に基づきます。
なお、投資先ファンドの運用管理費用（信託報酬）は当ファンドの運用管理費用（投信会社分）から支払われるため、別に收受しておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

Aコース（為替ヘッジなし）

○売買及び取引の状況

(2024年6月4日～2025年6月3日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
千円 シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	5,643	12,912	千円 31,431	71,911

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月4日～2025年6月3日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年6月3日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	千円
千円 シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	219,465	193,677	438,950	千円

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年6月3日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
千円 シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	438,950	% 100.0
コール・ローン等、その他	15	0.0
投資信託財産総額	438,965	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,792,007千円）の投資信託財産総額（2,849,207千円）に対する比率は98.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=142.83円です。

Aコース（為替ヘッジなし）

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年6月3日現在）

項目	当期末
(A) 資産	円 438,965,281
ショローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド[評価額]	438,950,062
未収入金	15,219
(B) 負債	3,483,918
未払解約金	15,219
未払信託報酬	3,221,037
その他未払費用	247,662
(C) 純資産総額(A-B)	435,481,363
元本	219,645,480
次期繰越損益金	215,835,883
(D) 受益権総口数	219,645,480口
1万口当たり基準価額(C/D)	19,827円

[元本増減]

期首元本額	245,201,656円
期中追加設定元本額	6,452,717円
期中一部解約元本額	32,008,893円

○損益の状況（2024年6月4日～2025年6月3日）

項目	当期
(A) 有価証券売買損益	△ 2,501,456
売買益	2,062,616
売買損	△ 4,564,072
(B) 信託報酬等	△ 7,196,501
(C) 当期損益金(A+B)	△ 9,697,957
(D) 前期繰越損益金	138,799,426
(E) 追加信託差損益金	86,734,414
(配当等相当額)	(85,880,214)
(売買損益相当額)	(854,200)
(F) 計(C+D+E)	215,835,883
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	215,835,883
追加信託差損益金	86,734,414
(配当等相当額)	(85,934,010)
(売買損益相当額)	(800,404)
分配準備積立金	155,659,780
繰越損益金	△ 26,558,311

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(16,860,354円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(85,934,010円)および分配準備積立金(138,799,426円)より分配対象収益は241,593,790円(10,000口当たり10,999円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本（受益者のファンドの購入価額）と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

Bコース（為替ヘッジあり）

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年6月4日～2025年6月3日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 150	% 1.430	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(58)	(0.550)	・ファンドの運用判断、受託会社への指図 ・基準価額の算出ならびに公表 ・運用報告書等法定書面の作成、および受益者への情報提供資料の作成等 ・運用報告書等各種書類の交付 ・口座内でのファンドの管理、および受益者への情報提供等
（販売会社）	(87)	(0.825)	・ファンドの財産保管・管理 ・委託会社からの指図の実行等
（受託会社）	(6)	(0.055)	
(b) その他の費用	13	0.120	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(0)	(0.001)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(2)	(0.019)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(10)	(0.091)	・印刷費用は、印刷会社等に支払う運用報告書作成等に係る費用
（その他の）	(1)	(0.008)	・その他は、グローバルな取引主体識別子（LEI : Legal Entity Identifier）登録費用、信託事務の処理に要するその他の諸経費等
合計	163	1.550	
期中の平均基準価額は、10,501円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) その他費用は、このファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

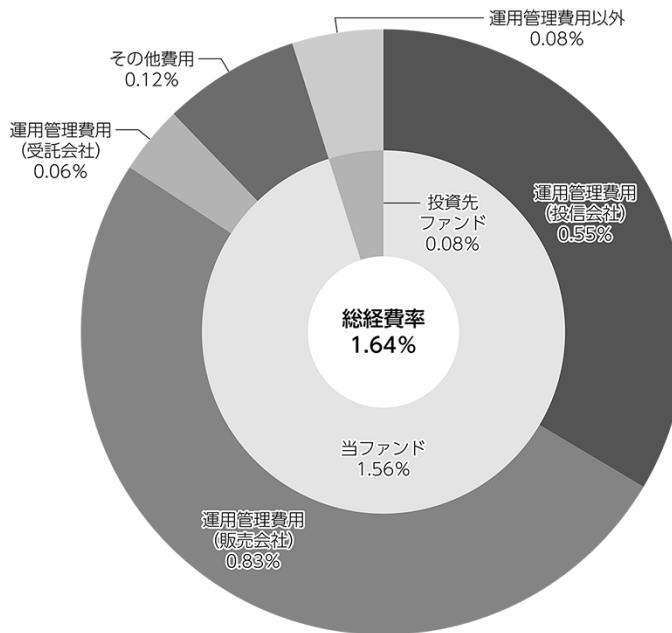
(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（親投資信託を除く）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.64%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	1.64
①当ファンドの費用の比率	1.56
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	—
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.08

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドの費用については、投資先ファンドの管理会社が発行する年次報告書（アニュアル・レポート）の記載に基づきます。
なお、投資先ファンドの運用管理費用（信託報酬）は当ファンドの運用管理費用（投信会社分）から支払われるため、別に收受しておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

Bコース（為替ヘッジあり）

○売買及び取引の状況

(2024年6月4日～2025年6月3日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
千円 シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	千円 17,681	千円 39,355	千円 25,325	千円 58,837

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月4日～2025年6月3日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年6月3日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	口数	口数	評価額	千円
千円 シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	千円 87,004	千円 79,360	千円 179,862	

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年6月3日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
千円 シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド	千円 179,862	% 98.1
コール・ローン等、その他	3,410	1.9
投資信託財産総額	183,272	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（2,792,007千円）の投資信託財産総額（2,849,207千円）に対する比率は98.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=142.83円です。

Bコース（為替ヘッジあり）

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年6月3日現在）

項目	当期末
(A) 資産	円 360,959,736
ショローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド[評価額]	179,862,233
未収入金	181,097,503
(B) 負債	179,072,095
未払金	177,687,232
未払解約金	1,005
未払信託報酬	1,285,115
その他未払費用	98,743
(C) 純資産総額(A-B)	181,887,641
元本	172,098,329
次期繰越損益金	9,789,312
(D) 受益権総口数	172,098,329口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,569円

[元本増減]

期首元本額	187,258,647円
期中追加設定元本額	3,705,124円
期中一部解約元本額	18,865,442円

○損益の状況（2024年6月4日～2025年6月3日）

項目	当期
(A) 有価証券売買損益	円 6,642,450
売買益	53,290,943
売買損	△46,648,493
(B) 信託報酬等	△ 2,899,563
(C) 当期損益金(A+B)	3,742,887
(D) 前期繰越損益金	△ 5,097,740
(E) 追加信託差損益金	11,144,165
(配当等相当額)	(36,252,623)
(売買損益相当額)	(△25,108,458)
(F) 計(C+D+E)	9,789,312
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	9,789,312
追加信託差損益金	11,144,165
(配当等相当額)	(36,263,454)
(売買損益相当額)	(△25,119,289)
分配準備積立金	64,527,876
繰越損益金	△65,882,729

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(6,875,859円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(36,263,454円)および分配準備積立金(57,652,017円)より分配対象収益は100,791,330円(10,000口当たり5,856円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	0円
----------------	----

<分配金について>

- ・収益分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本（受益者のファンドの購入価額）と同額または上回る場合は、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配金落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額は普通分配金となります。
- ・分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。

〈シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド 第12期〉

【計算期間 2024年6月4日から2025年6月3日まで】

信託期間	無期限
決算日	毎年6月3日。ただし、当該日が休業日の場合は翌営業日
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指した運用を行います。 投資信託証券（以下「指定投資信託証券」といいます。）を通じて複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に投資し、市場環境に合わせて機動的に資産配分の調整を行います。
主要投資対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJ 投資証券」 ・ルクセンブルグ籍ユーロ建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ヨーロ・リクイディティ クラスI 投資証券」 ・ルクセンブルグ籍米ドル建て外国投資法人 「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラスI 投資証券」 <p>上記の指定投資信託証券を主要投資対象とします。</p>
組入制限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。また、外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	投資信託券率		純資産額
		期騰落	中率	
8期(2021年6月3日)	円 15,358		% 19.8	% 97.3 百万円 5,360
9期(2022年6月3日)	16,715		8.8	97.8
10期(2023年6月5日)	18,303		9.5	96.9
11期(2024年6月3日)	22,816		24.7	97.6
12期(2025年6月3日)	22,664	△ 0.7		96.9 2,838

(注) 基準価額は1万口当たり。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	投資信託券率	
		騰落率	中率
(期首) 2024年6月3日	円 22,816	% —	% 97.6
6月末	23,611	3.5	97.6
7月末	22,537	△1.2	97.1
8月末	21,979	△3.7	97.6
9月末	21,966	△3.7	97.5
10月末	23,275	2.0	97.5
11月末	23,025	0.9	97.7
12月末	23,850	4.5	96.9
2025年1月末	23,739	4.0	97.1
2月末	23,338	2.3	97.8
3月末	23,214	1.7	97.1
4月末	22,139	△3.0	97.8
5月末	22,814	△0.0	97.6
(期末) 2025年6月3日	22,664	△0.7	96.9

(注) 基準価額は1万口当たり。

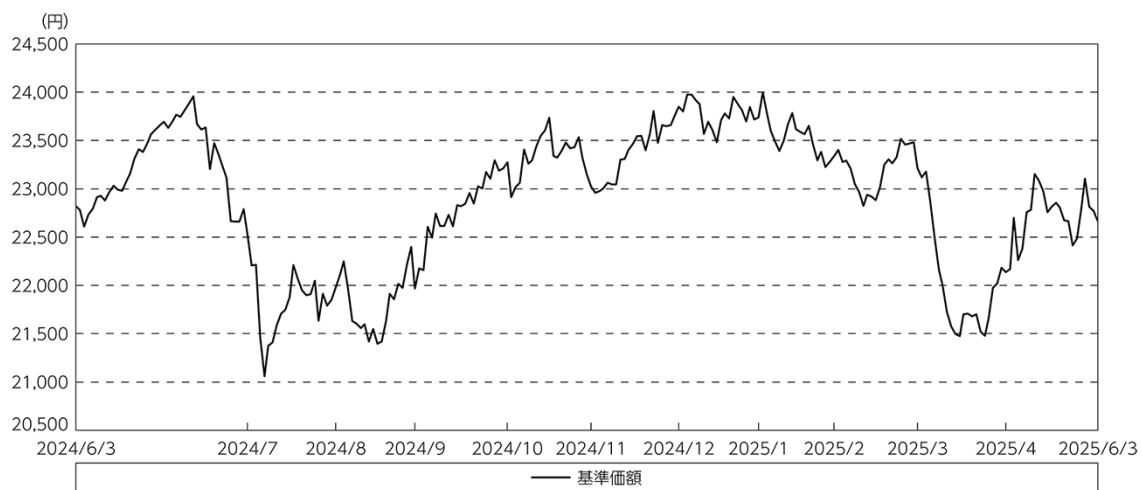
(注) 謄落率は期首比。

(注) 当ファンドは、主に有価証券に投資する投資信託証券への投資を行い、複数のインカムアセット（世界の高配当株式、債券等）に投資を行います。 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○運用経過

(2024年6月4日～2025年6月3日)

期中の基準価額等の推移



(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○基準価額の主な変動要因

期首22,816円でスタートした基準価額は、22,664円で期末を迎え、期首比0.7%の下落となりました。

当期、マザーファンドの主要投資対象ファンド（米ドルベース）はプラスのリターンとなりました。

米国のトランプ政権による関税政策を巡り、株式市場は大幅に下落した局面もありましたが、概ね上昇基調を辿ったことから、世界株式は上昇し、高配当株式の組入れはパフォーマンスにプラスに寄与しました。債券資産については、クレジット資産は堅調に推移し、総じて上昇したことから、債券資産はパフォーマンスにプラスに寄与しました。特に、ハイイールド債券の組入れによるプラス寄与が大きくなりました。

投資環境

当期、当期初から2025年2月半ば頃まで世界株式は上昇基調を辿りました。4月に米国のトランプ政権による関税政策を巡り、大幅に下落した局面もありましたが、その後反発し、再び上昇基調となつたことから、世界株式は上昇して終えました。当期初から2024年7月半ばにかけては、人工知能（AI）の発展を巡る期待感などが支援材料となり、世界株式は上昇しました。8月、市場予想を下回る米国雇用統計を受け、景気後退懸念が急速に高まつたことを背景に、ボラティリティ（変動性）が急上昇する局面がありましたが、その後発表された主要経済指標が堅調な内容となつたことや、好調な企業業績の発表などが投資家心理を支えました。8月以降2025年2月半ば頃までは、米連邦準備制度理事会（F R B）が3会合連続で利下げを決定したことなどが支援材料となり、米国株式を中心に世界株式は上昇基調を辿りました。3月、関税を巡る不確実性が高まる中、世界株式市場は下落基調に転じ、4月初にはトランプ政権が「解放の日」と呼ぶ日に発表された関税政策を受け、株式市場は急落しました。その後、相互関税の一時停止が発表されたことで反発し、世界株式市場は上昇して終えました。

債券については、米国やドイツなどの主要債券市場での金利は、ほぼ横ばいの水準で終えました。当期初から2024年9月末頃までは、主要中央銀行が金融緩和を進める中、金利は低下（価格は上昇）基調を辿りました。その後、10月から2025年1月半ば頃まで、トランプ次期政権の政策がインフレ圧力の再燃につながるとの懸念から、米国金利は上昇（価格は下落）した後、インフレ懸念の緩和や一部経済指標が米国経済の軟化の兆候を示したことで、米国金利は低下しました。ドイツの金利は3月にドイツ政権が防衛・インフラ関連への投資を含む、大規模な財政拡大案を発表したことを背景に、大幅上昇しました。クレジット資産については、トランプ政権による関税政策の発表を受け、2025年4月に大幅に下落した局面もありましたが、総じて上昇基調を辿り、投資適格社債、ハイイールド社債ともに上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

当期、高配当株式について、組入比率を機動的に調整したほか、米国資本からの資金シフトが意識される局面では、欧州株式を選好するなど、エクスポートジャーナーの調整を行いました。2024年7月、ポートフォリオのリスクの引き下げを企図して、米国株式の一部売却により高配当株式の組入比率を引き下げました。その後、高配当株式の組入比率を同程度の水準で維持する中で、国別のエクスポートジャーナーの変更を機動的に行い、12月には米国株式の組入比率を引き下げ、バリュエーション（価値評価）が魅力的と判断した欧州株式の組入比率を引き上げました。2025年1月、堅調な経済成長が世界株式を下支えするとの見方から、高配当株式の組入比率を引き上げた後、2月には米国の政策を巡る不確実性が高まつたことを受け、米国株式の売却により高配当株式の組入比率を引き下げました。5月、再び米国株式の組入比率を引き上げたことから、高配当株式の組入比率は上昇しました。

債券については、2025年4月から当期末にかけて、デュレーションを短期化しました。2024年6月、クレジットクオリティが高く、高利回りである資産に、効果的な分散資産としての役割が今後期待されると考え、オーストラリア投資適格債券を新規で組み入れました。7月、ポートフォリオのリスクの引き下げを企図して、ハイイールド債券の組入比率を引き下げました。11月、相対的なバリュエーション水準の観点から、米国投資適格社債を一部売却し、オーストラリア投資適格債券の組入比率を引き上げました。2025年に入ってからも、トランプ政権による関税政策や、移民政策が米国労働市場にもたらす影響などを考慮し、債券資産の中で分散して資産を保有する方針を取っており、オーストラリア投資適格債券などのハイクオリティな資産への選好を維持しました。

その他インカムアセットについては2025年3月、リスク調整後利回りやリスク分散を勘案し、証券化商品の組入比率を引き上げました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指標が存在しないため、ベンチマーク等は設けておりません。

○今後の運用方針

米国では、トランプ大統領が1期目に導入した減税の延長に向けて動く中、財政赤字の拡大が見込まれることから、財政悪化を巡る懸念が強くなっています。一方で、関税について、一部製品の関税免除の措置や、各國の米国製品購入の表明によって関税の影響が低減するとの見方から、投資家のリスク選好姿勢が強まり、リスク資産は足元2025年5月、堅調に推移しました。

欧洲については、相対的に堅調となる可能性が高いとの見方を維持しています。ドイツでは、5,000億ユーロのインフラ基金と4,000億ユーロの防衛基金の創設が見込まれています。ドイツにおける政府の利払い（対GDP（国内総生産）比）は米国よりも低く、財政が相対的に健全であることから、このような政策も財政的に可能であると考えており、金利コストが急速に上昇している米国とは異なる状況にあります。また、財政面での追い風に加えて、欧洲中央銀行（ECB）は過去1年で政策金利を2%程度引き下げており、今後数ヶ月の間で、さらなる利下げも見込まれています。また、米国の住宅市場が停滞する一方、欧洲では家計向け融資が急回復しており、貿易戦争による不確実性が長引いた場合も、これらが支援材料となると考えています。ただし、貿易交渉の動向によっては、一時的に停滞する可能性もあると考えています。ポートフォリオでは、欧洲株式の中で中型株式を選好しており、割安なシクリカル銘柄を選好しています。また、トランプ政権の動向はアジアにも大きく影響すると考えており、ポートフォリオでは、日本株式をアジア株式の主要ポジションとして保有しています。

債券については、地政学リスクや不透明感が強い環境下、オーストラリア投資適格債券などのハイクオリティな資産への選好を維持しつつ、債券資産の中で分散して資産を保有する方針を取っています。

○1万口当たりの費用明細

(2024年6月4日～2025年6月3日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) その他の費用	円 0	% 0.002	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・その他は、グローバルな取引主体識別子（L E I :Legal Entity Identifier）登録費用等
(保 管 費 用)	(0)	(0.001)	
(そ の 他)	(0)	(0.000)	
合 計	0	0.002	
期中の平均基準価額は、22,957円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（投資証券等を含む）が支払った費用を含みません。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2024年6月4日～2025年6月3日)

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外 国 アメリカ [シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJ]	口 18,052	千米ドル 1,409	口 56,325	千米ドル 4,436

(注) 金額は受渡代金。

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月4日～2025年6月3日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年6月3日現在)

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 價 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ) シュローダー・インターナショナル・セレクション・ ファンド ドル・リクリディティ クラス I シュローダー・インターナショナル・セレクション・ ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラス J	0.9	0.9	千米ドル 0.121	千円 17	% 0.0	
合 計	280,091	241,819	19,254	2,750,127	96.9	
銘 柄	口 数	金 額	280,092	241,819	19,254	2,750,145
合 計	2	< 比 率 >	2	2	—	<96.9%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○投資信託財産の構成

(2025年6月3日現在)

項 目	当 期 末	
	評 價 額	比 率
投資証券	千円 2,750,145	% 96.5
コール・ローン等、その他	99,062	3.5
投資信託財産総額	2,849,207	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (2,792,007千円) の投資信託財産総額 (2,849,207千円) に対する比率は98.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=142.83円です。

シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年6月3日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	2,878,288,693
投資証券(評価額)	57,146,770
未収入金	2,750,145,001
未収配当金	58,232,928
未収利息	12,763,447
	547
(B) 負債	39,574,305
未払金	29,081,302
未払解約金	10,493,003
(C) 純資産総額(A-B)	2,838,714,388
元本	1,252,538,807
次期繰越損益金	1,586,175,581
(D) 受益権総口数	1,252,538,807口
1万口当たり基準価額(C/D)	22,664円

[元本増減]

期首元本額	1,523,917,916円
期中追加設定元本額	36,424,057円
期中一部解約元本額	307,803,166円

[当マザーファンドの当期末における元本の内訳]

シュローダー・インカムアセット・アロケーション(毎月決算型) Aコース(為替ヘッジなし)	962,741,181円
	16,760,079円
シュローダー・インカムアセット・アロケーション(1年決算型) Aコース(為替ヘッジなし)	193,677,225円
	79,360,322円

○損益の状況 (2024年6月4日～2025年6月3日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取配当金	159,984,856
受取利息	159,883,324
(B) 有価証券売買損益	△ 101,532
売買益	△ 175,013,429
売買損	△ 101,797,809
(C) 保管費用等	△ 276,811,238
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 47,220
(E) 前期繰越損益金	△ 15,075,793
(F) 追加信託差損益金	1,953,064,134
(G) 解約差損益金	45,215,952
(H) 計(D+E+F+G)	△ 397,028,712
	1,586,175,581
次期繰越損益金(H)	1,586,175,581

(注) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<参考>マザーファンドが投資対象とする組入投資信託証券の内容

以下、当運用報告書作成期末時点でのシュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンドが保有している各投資信託証券の直前の計算期間の内容を開示いたします。

「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカム クラスJ 投資証券」の運用状況

<ファンドの概要>

形態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て	
主な投資対象	世界の株式、債券、代替資産等	
運用の基本方針 および主な投資制限	<p>世界の様々な資産クラスへの分散投資を通じて、収益確保および中長期的な元本成長を目指します。</p> <p>※欧洲委員会が制定した指令（UCITS指令）に準拠して分散投資を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ファンドはアクティブ運用され、直接またはデリバティブを通じて間接的に株式および株式関連証券、固定利付債券、代替資産（不動産、インフラ、未公開株、商品、貴金属、ヘッジファンド）へ投資します。代替資産への投資は投資適格資産に限ります。 ■ 投資適格未満（S&P グローバル・レーティングによる格付あるいは他社同等格付）の固定利付債券および変動利付債券や無格付け債券への投資割合は資産の50%以下とします。 ■ 新興市場における固定利付債券および変動利付債券への投資割合は資産の50%超となる場合があります。 ■ 資産担保証券および不動産担保証券への投資割合は資産の20%以下とします。 ■ 規制市場（ボンドコネクトまたはCIBMダイレクトを介したCIBMを含む）を通じて中国本土に資産の最大15%まで投資することができます。 ■ 収益の追求、運用資産の価格下落リスクの抑制および資産の効率的な運用のため、デリバティブ取引（トータル・リターン・スワップを含む）を買い建て、売り建て共に活用することがあります。 ■ トータル・リターン・スワップや差金決済取引は、株式および株式関連証券、固定利付債券や変動利付債券もしくは商品先物指数の買い建て、売り建てに使われることがあり、原則として資産の20%に収まる範囲で活用し、最大でも資産の30%を超えることはありません。また、当該スワップの原資産はファンドの投資対象資産に限定します。 ■ 投資信託証券への投資割合は、資産の10%以下とします。 ■ 短期金融商品に投資し、現金を保有することができます。 ■ 投資運用会社の評価方式に基づき、MSCI AC World Index (USD) の30%、Barclays Global Aggregate Corporate Bond Index (USD) の40%、Barclays Global High Yield excl CMBS & EMG 2% index (USD) の30%よりも総合して高いサステナビリティ・スコアを維持します。（投資プロセスは交付目論見書「追加的記載事項」に掲載の「サステナビリティ基準」をご参照ください。） ■ ファンドは投資運用会社のウェブページ（https://www.schroders.com/en-ru/ru/individual/fund-centre/）に掲げる「サステナビリティ関連開示」に記載される上限を超えて特定の活動、業界または発行体グループへの直接投資は行いません。 	
投資運用報酬	ありません。	
管理報酬等	ファンドの純資産総額に対して年率0.08%程度（実績値）を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決算日	12月31日	
設定日	2013年5月22日	
ファンドの関係法人	管理会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイ
	投資運用会社	シュローダー・インベストメント・マネージメント・リミテッド
	保管会社	J. P. モルガン・エスジー、ルクセンブルグ支店

(注) 以下の内容は、シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド グローバル・マルチ・アセット・インカムの全てのクラスを合算しております。

(注) 以下の内容は、シュローダー・インベストメント・マネージメント（ヨーロッパ）エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋したものです。

シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド・グローバル・マルチ・アセット・インカム

Statement of Operations for the Year Ended
31 December 2024

Schroder ISF Global Multi-
Asset Income
USD

NET ASSETS AT THE BEGINNING OF THE YEAR	\$ 888,245,403
INCOME	
Dividend income, net of withholding taxes	
Interest income from investments, net of withholding taxes	12,875,350
Interest on swap contracts	25,027,318
Bank interest	-
TOTAL INCOME	1,212,315
EXPENSES	
Management fees	10,439,107
Administration fees	1,904,767
Taxe d' abonnement	382,249
Depository fees	109,585
Distribution fees	987,050
Bank and other interest expenses	310
Interest on swap contracts	480,151
Operating expenses	362,197
TOTAL EXPENSES	14,665,416
Less: Expense subsidy	-
NET INVESTMENT INCOME/(LOSS)	24,449,567
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	34,687,827
Options contracts	(1,831,986)
Financial futures contracts	(11,329,279)
Forward currency exchange contracts	(17,698,263)
Swaps contracts	2,851,905
Currency exchange	(271,686)
NET REALISED GAIN/(LOSS) FOR THE YEAR	6,408,518
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	(12,844,904)
Options contracts	619,208
Financial futures contracts	(3,402,364)
Forward currency exchange contracts	1,982,792
Swaps contracts	(2,396,658)
Currency exchange	(184,921)
NET CHANGE IN UNREALISED APPRECIATION/(DEPRECIATION) FOR THE YEAR	(16,226,847)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF OPERATIONS	14,631,238
Subscriptions	308,107,404
Redemptions	(343,407,093)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF MOVEMENTS IN SHARE CAPITAL	(35,299,689)
Dividend distributions	(40,644,433)
NET ASSETS AT THE END OF THE YEAR	826,932,519

【上位10銘柄】

(2024年12月31日現在)

	銘柄名	通貨	種別	業種	比率 (%)
1	Schroder ISF Multi-Asset Growth and Income - Class I Distribution USD	米ドル	外国投資証券	投資ファンド	4.60
2	Schroder ISF Emerging Markets Multi-Asset - Class I Distribution USD	米ドル	外国投資証券	投資ファンド	3.54
3	Schroder GAIA Cat Bond - Class I Accumulation USD	米ドル	外国投資証券	投資ファンド	1.67
4	Microsoft Corp.	米ドル	外国株式	情報技術	0.82
5	FNMA 6% 01/12/2053	米ドル	外国債券	国債	0.74
6	Alphabet, Inc. 'A'	米ドル	外国株式	通信サービス	0.62
7	Turkiye Government Bond 12.6% 01/10/2025	トルコリラ	外国債券	国債	0.52
8	Apple, Inc.	米ドル	外国株式	情報技術	0.51
9	Westpac Banking Corp., Reg. S 3.8% 20/05/2026	オーストラリアドル	外国債券	国債	0.50
10	FNMA 6% 01/02/2054	米ドル	外国債券	国債	0.49
					銘柄数 1,050

「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ クラス I 投資証券」の運用状況

〈ファンドの概要〉

形 態	ルクセンブルグ籍外国投資法人／米ドル建て	
主 な 投 資 対 象	米ドル建ての短期金融資産	
運 用 の 基 本 方 針 および主な投資制限	<p>ファンドはアクティブ運用され、主として米ドル建ての短期金融資産(S&Pグローバル・レーティングによる投資適格以上あるいは管理会社の内部格付調査において取得した他社同等格付以上)への投資を通じて、流動性の確保と元本の保全を目指します。これらの証券は、取得時において、当初から又は残存期間が12ヶ月以内であること(付随する金融商品を考慮にいれる)、もしくは採用金利が少なくとも市況に応じて年次で調整され残存期間が2年以内であるものを前提とします。</p> <p>※元本の保全と流動性の確保を保証するものではありません。</p> <p>※欧州委員会が制定した指令(UCITS指令)に準拠して分散投資を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■為替変動リスクおよび金利変動リスクのヘッジのため、デリバティブ取引を活用することがあります。 ■現金を保有し、金融機関へ預金することができます。 	
投 資 運 用 報 酬	ありません。	
管 理 報 酬 等	ファンドの純資産総額に対して年率0.05%程度(実績値)を管理報酬、保管報酬、弁護士費用、および監査費用等の精算にあてております。この料率は運用・管理状況等によって変動することがあります。	
決 算 日	12月31日	
設 定 日	2002年7月4日	
ファンドの関係法人	管 理 会 社	シュローダー・インベストメント・マネージメント(ヨーロッパ)エス・エイ
	投 資 運 用 会 社	シュローダー・インベストメント・マネージメント・ノースアメリカ・インク
	保 管 会 社	J. P. モルガン・エスキー、ルクセンブルグ支店

(注) 以下の内容は、シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティの全てのクラスを合算しております。

(注) 以下の内容は、シュローダー・インベストメント・マネージメント(ヨーロッパ)エス・エイから入手した財務書類の一部を抜粋したものです。

シュローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド

シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ドル・リクイディティ

Statement of Operations for the Year Ended
31 December 2024

Schroder ISF US Dollar
Liquidity
USD

NET ASSETS AT THE BEGINNING OF THE YEAR	\$ 533,866,771
INCOME	
Dividend income, net of withholding taxes	
Interest income from investments, net of withholding taxes	25,141,528
Interest on swap contracts	-
Bank interest	2,332,145
TOTAL INCOME	27,473,673
EXPENSES	
Management fees	739,831
Administration fees	249,387
Taxe d' abonnement	51,655
Depository fees	28,402
Distribution fees	-
Bank and other interest expenses	-
Interest on swap contracts	-
Operating expenses	103,681
TOTAL EXPENSES	1,172,956
Less: Expense subsidy	-
NET INVESTMENT INCOME/(LOSS)	26,300,717
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	45,795
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	(68)
Swaps contracts	-
Currency exchange	(82,485)
NET REALISED GAIN/(LOSS) FOR THE YEAR	(36,758)
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	(245,348)
Options contracts	-
Financial futures contracts	-
Forward currency exchange contracts	(25)
Swaps contracts	-
Currency exchange	(5)
NET CHANGE IN UNREALISED APPRECIATION/(DEPRECIATION) FOR THE YEAR	(245,378)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF OPERATIONS	26,018,581
Subscriptions	388,362,093
Redemptions	(365,685,055)
INCREASE/(DECREASE) IN NET ASSETS AS A RESULT OF MOVEMENTS IN SHARE CAPITAL	22,677,038
Dividend distributions	-
NET ASSETS AT THE END OF THE YEAR	582,562,390

シローダー・インカムアセット・アロケーション・マザーファンド

Portfolio of Investments of the Year Ended 31 December 2024

Investments	Currency	Quantity/ Nominal Value	Market Value USD	% of Net Assets
Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market				
Bonds				
Financials				
US Treasury Bill 0% 02/01/2025	USD	37,240,000	37,240,000	6.39
US Treasury Bill 0% 07/01/2025	USD	46,651,000	46,624,176	8.00
US Treasury Bill 0% 13/02/2025	USD	37,251,000	37,066,161	6.36
US Treasury Bill 0% 27/02/2025	USD	37,519,000	37,273,041	6.40
US Treasury Bill 0% 13/03/2025	USD	38,000,000	37,690,932	6.47
US Treasury Bill 0% 03/04/2025	USD	39,636,000	39,215,699	6.73
US Treasury Bill 0% 24/04/2025	USD	40,011,000	39,492,469	6.78
US Treasury Bill 0% 29/05/2025	USD	35,535,000	34,932,467	6.00
			309,534,945	53.13
Total Bonds			309,534,945	53.13
Commercial Papers				
Financials				
Banco Santander SA 0% 03/06/2025	USD	25,000,000	24,523,313	4.21
DNB Bank ASA 0% 15/01/2025	USD	25,000,000	24,955,187	4.28
Lloyds Bank plc 0% 21/04/2025	USD	25,000,000	24,657,765	4.23
Mizuho Bank Ltd. 0% 09/06/2025	USD	25,000,000	24,505,926	4.21
Royal Bank of Canada 0% 25/02/2025	USD	25,000,000	24,828,604	4.26
Royal Bank of Canada 0% 04/06/2025	USD	22,000,000	21,585,906	3.71
Santander UK plc 0% 05/02/2025	USD	25,000,000	24,890,900	4.27
Standard Chartered Bank 0% 10/06/2025	USD	25,000,000	24,501,344	4.21
Toronto-Dominion Bank (The) 0% 10/04/2025	USD	25,000,000	24,690,694	4.24
			219,139,639	37.62
Total Commercial Papers			219,139,639	37.62
Total Transferable securities and money market instruments dealt in on another regulated market				
Total Investments			528,674,584	90.75
Cash			54,138,089	9.29
Other assets/(liabilities)			(250,283)	(0.04)
Total Net Assets			582,562,390	100.00